

2012 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	堀田 隆一		
NAME	Hotta Ryuichi		

1. 研究課題

(和文) 現代英語の言語変化の潮流

(英文) Language Changes in Present-Day English

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

本研究の目的は、現代英語 (20 世紀以降の英語) における言語変化の実態を調査し、英語史の観点から、現代英語期に観察される特有な潮流は何か、歴史を通じて観察される無標の傾向は何かを追究することであった。

2 年間の研究期間においては、主として「名前動後」と称される、品詞に応じて強勢移動を示す 2 音節語の起源と発達について、詳細に研究した。16 世紀後半に初めて現れた名前動後は、その後ゆっくりではあるが着実に分布を拡げてきた。20 世紀以降の現代英語期においても、この傾向は継続しており、現在も進行中である。この発達がなぜ、どのように生じて現在および未来へと続いているのかを明らかにするために、歴史的な辞書と現在の辞書の記述を比較し、通時的な観点から名前動後の精緻なリストを作り上げ、変化の速度を示すことができた。

ここで用いた歴史辞書を用いた文献学的方法論は汎用性があり、その有効性を示したことから、歴史言語学の分野へ一定の貢献をなしたと考える。また、現代英語の発音教育にも資する結果が出たと確信する。本研究の途中経過は、随時、研究発表や論文の形で公表してきており、とりわけ “The Diatonic Stress Shift in Modern English” により、2013 年の近代英語協会優秀学術奨励賞を受賞したことは大きな励みであった。

(英文)

The purpose of the research was to identify trends that characterise language changes in Present-Day English. I focused on the development of diatonics from the late sixteenth-century to the present, especially how and why they have developed in the way they have.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

<p>【学術論文】 (著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)</p>
<p>“Noun-Verb Stress Alternation: An Example of Continuing Lexical Diffusion in Present-Day English.” <i>Journal of the Faculty of Letters: Language, Literature and Culture</i> 110 (September 2012): 36-63.</p>
<p>“Noun-Verb Stress Alternation: Its Nineteenth-Century Development and Its Earlier Historical Backgrounds.” <i>Lexicon</i> 42 (December 2012): 79-94. (査読なし)</p>
<p>“The Diatonic Stress Shift in Modern English.” <i>Studies in Modern English</i> 29 (July 2013): 1-20. (2013 年, 近代英語協会優秀学術奨励賞受賞 ; 査読あり)</p>
<p>“Frequency and Other Effects on Diatonic Stress Shift.” <i>Journal of the Institute of Cultural Science</i> 75 (September 2013): 121-44. (査読なし)</p>
<p>【学会発表】 (発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)</p>
<p>2012 年 5 月 25 日 「近代英語初期から 21 世紀にかけての「名前動後」の拡大」 近代英語協会第 29 回大会 (青山学院大学).</p>
<p>2013 年 8 月 9 日 “The Diffusion of Diatones and Frequency Effects” ICHL 21: International Conference on Historical Linguistics (University of Oslo).</p>
<p>【図 書】 (著者名、出版社名、書名、刊行年)</p>
<p>なし.</p>
<p>【その他】 (知的財産権、ニュースリリース等)</p>
<p>なし.</p>